

第 15 期事業報告書

(2021 年 10 月～2022 年 9 月)

一般社団法人 J E A N

1. 海洋ごみ問題に関わる情報の収集及び発信

(1) 海洋ごみ問題について、マスメディア等からの取材または照会に応じた。

(2) JEAN の活動及び海洋ごみ問題について広く知ってもらうため、JEAN ウェブサイトを適宜、更新した。

(3) 団体の公式フェイスブックページと、海洋ごみの情報発信フェイスブックページ「海ごみプラットフォーム・JAPAN(Malip)」を運営した。

(4) 機関紙「美しい海をこどもたちへ」の編集・発行

サポーター、各地のクリーンアップ運営担当者（以下、「キャプテン」という）及び関係者を対象に、海洋ごみに関する情報を掲載した機関紙「美しい海をこどもたちへ」を、2 回発行した。

55 号（2021 年 12 月発行、A4 版 4 ページ）

56 号（2022 年 7 月発行、A4 版 4 ページ）

(5) 講演等の案内を、適宜メール等で関係者に行った。

(6) その他

国内各地の行政、民間企業、NPO 等（個人を含む）との情報交換に対応した。

2. 海洋ごみ問題に関わる調査研究

(1) 自主調査

① 日本における「国際海岸クリーンアップ（ICC 調査）」の主催

世界約 100 カ国でいっせいに行われる「国際海岸クリーンアップ」へ参加するため、協力団体を中心に日本国内での参加呼びかけを行った。また、協力団体が実施した結果をとりまとめ、12 月に主宰団体であるオーシャン・コンサーバンシー（アメリカ）へ報告した。

3. 海洋ごみ問題に関する啓発及び国際協力

(1) クリーンアップキャンペーンの展開

漂着ごみの実態把握と海洋ごみ問題の啓発活動の一環として、ICC 調査を取り入れたキャンペーンを春と秋に展開し、参加の呼びかけや結果のとりまとめを行った。

なお、クリーンアップキャンペーンは通年で行うものとし、春と秋はそれぞれ集中キャンペーンとして実施する。

今期の前半は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、予定していたクリーンアップ

の中止や、実施見送りが相次いだ。地域によって状況が異なることから、キャンペーンは例年通りの開催とし、会場ごとに実施の判断を行った。後半には、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う移動自粛などの制限要請がなくなり、活動復活の兆しがみられた。

2021年のキャンペーン（対象期間：10～12月）

目的：漂着ごみの回収および漂着ごみの調査

会場数 176会場

上記のうち国際海岸クリーンアップ（対象期間10月）70会場

③ データベースの構築

調査データの蓄積のため、データベースを構築し、蓄積作業を継続している。

2022年のキャンペーン（対象期間：1～9月）

目的：漂着ごみの回収および漂着ごみの調査

会場数 183会場

上記のうち国際海岸クリーンアップ（対象期間9月）集計中

(2)啓発用展示物の貸し出し

①海洋ごみ問題の現状を認識してもらうため、4種類の展示物を貸し出し、広報活動を行った。

写真パネル（「みんなの問題海のごみ」A1 アルミフレームタイプ、A1 ロール型、A3 ラミネート型「新たな海洋汚染マイクロプラスチック」）

貸出件数： 24件 展示日数 179日

②漂着物のトランク・ミュージアムは、トランク本体の傷みのため貸し出し停止中
全面的な作り直しを予定しているが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため出張を控えているため、展示用の漂着物収集が実施できていない。

(3)国際的な知見共有等

①「国際海岸クリーンアップ（ICC）」主宰団体のオーシャン・コンサーバンシー（米国）へ、2021年の国内データを12月に提供した。

(4)講演・研修指導等の協力

以下の会場で、海洋ごみ問題について講演及び研修指導等を行った。

10/2 環錦江湾観光推進協会講演会（垂水市）

10/2 ブライトリング・ジャパン ICC in 三浦海岸で講演とごみ調査指導（三浦市）

10/4 日本ジオパークネットワーク全国大会分科会で基調提起講演（オンライン）

10/15 気仙沼市立条南中学校オンライン授業

10/25 鹿屋西ロータリークラブ講話（オンライン）

10/30 国立大隅青少年自然の家「おおすみ君家探検隊」（垂水市）

- 10/31 琴引浜ガイドシンクロクリーンアップリーダー講座（講演/WS/ICC 指導）（網野町）
- 11/11 全国川ごみネットワーク 環境学習教材検討会出席（オンライン）
- 11/11～12 香川県クリーンアップリーダー養成講座で講演とごみ調査指導
- 11/23 さいたま消費者フォーラムで講演
- 11/27 チェスト for ザブルー「ナイトアクアリウム」（鹿児島市）
- 12/3 シニア自然大学校講演会（大阪市）
- 12/5 マルヤガーデンズシネマ「プラスチックの海」講演会（鹿児島市）
- 12/21 霧島市教育委員会「舞鶴大学」講演会（霧島市）
- 12/22 倫理法人会モーニングセミナー（鹿児島市）
- 12/4 水産工学会秋季シンポジウムで講演と総合討論参加（オンライン）
- 12/19 川ごみサミット出席
- 2/23 狭山市消費者センター講演（新型コロナにより延期）
- 3/6 種子島大学（南種子町）
- 4/10 一宮ウミガメを見守る会 こども向けワークショップで講演（一宮町）
- 5/15 ロータークラブクリーンアップ（南さつま市）
- 6/4 第 58 回越谷母親大会で講演（越谷市）
- 6/15 国土交通大学校海岸研修で講義
- 6/30 ガードジャパン(株)で海ごみ講座（講演とワークショップ）
- 7/3 立川市羽衣町子ども会連合会で講演（立川市）
- 7/17 横浜南生活クラブ生協神奈川コモンズで講演（横浜市）
- 7/30 鹿児島熱闘会議講演会（鹿児島市）
- 8/3 鹿児島湾水協講演会（鹿児島市）
- 8/30 三井化学（株）活動報告会（オンライン）
- 9/3 高知大学共通教育「土佐の海の世界環境学」講演と座談会（オンライン）
- 9/10 藤沢市鵜沼海岸でのごみ調査とクリーンアップ
- 9/18～25 第 7 回海洋ごみ国際会議に出席（韓国・プサン）
- 9/22 (公社)食品容器環境美化協会ブロック会議で講演
- 9/30 ガードジャパン(株) ICC 調査指導とレクチャー（三浦市）

委員会・検討会等への出席

- 10/13 対馬市海岸漂着物対策推進協議会 専門会議出席（オンライン）
- 1/11 環境省漂着ごみ実態把握分科会（オンライン）
- 1/19 対馬市海岸漂着物対策推進協議会出席（オンライン）
- 1/21 沖縄県海岸漂着物対策ワーキンググループ海外交流事業出席（オンライン）
- 1/28 公明党 環境委員会 海洋ごみ問題対策についてのヒアリング
- 1/23 沖縄県の海ごみ対策公開ワークショップ出席（オンライン）
- 2/2 沖縄県海岸漂着物対策推進協議会ワーキンググループ出席（オンライン）
- 2/16 環境省海洋ごみ実態把握検討会（オンライン）
- 7/28～29 対馬市海岸漂着物対策推進協議会出席（海岸および処理施設視察と会議）

4. 政策提案

- (1) 海洋ごみ問題への理解等を図るため、今後のプラスチックに係る資源循環の促進等について市民団体のネットワークを通じ意見表明等を行った。

5. 附帯又は関連する事業

(1) 専門会、委員等の協力

以下の会議に出席し、情報収集及び提案等を行った。

- ・環境省漂着ごみ実態把握分科会委員
- ・食品容器環境美化協会主催 環境美化教育優良校等表彰審査委員会
- ・沖縄県海岸漂着物対策推進協議会 委員（沖縄県）
- ・同上 ワーキンググループ（沖縄県）
- ・長崎県対馬市海岸漂着物対策推進協議会 委員
- ・公益財団法人日本自然保護協会評議員
- ・全国川ごみネットワーク理事

6. その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 出版社等からの要望により、海洋ごみ問題に関する画像を、有料で貸し出した。

- (2) 資料(「海辺のカルテ」、「海辺のカルテ 漂着物ワークブックこども用」映像資料「ゴミ箱になった海」、映像資料「人工の海」)を、継続して販売した。

(3) 受託事業、助成活動等

① 調べてみよう！マイクロプラスチック市民調査

(独) 環境再生保全機構地球環境基金による助成活動

(2か年のうち2年目について新型コロナウイルス感染症の影響により1年延長)

2021年10月～2021年3月末の活動は以下の通り

2/3 マイクロプラスチック市民調査検討会開催

3/6 マイクロプラスチック市民調査結果報告会開催（オンライン配信）

4/7 【調べてみよう！マイクロプラスチック市民調査記録集】発行

(4) その他

個人、団体、企業、学校等から、海洋ごみ問題（特にプラスチックによる海洋汚染）についての問い合わせや、クリーンアップ等への参加相談が多数寄せられた。